

中一国語科通信

第八回

創作作文に挑戦！

みなさん、こんにちは。初めて配った学習プリントの一回目の課題を覚えていますか。「**畳語で短文をつくろう！**」でしたね。「日々」や「木々」、「ピカピカ」や「のしのし」など、様々な言葉が出てきました。一人一人が一生けん命に考えて書いてくれた答えは、どれも読み応えのあるものでした。

その次のページには、「**挑戦してみよう！**」ということで、畳語で短文をつくるだけでなく、それをもとに創作作文をつくってみようというページを設けました。これは、やつてもやらなくていいページで、もつと学習してみたい人向けの課題でした。予想以上に書いてくれている人が多かったので、びっくりしました。このページを書いていない人も、最初の課題はしつかりできていたので、安心してくださいね。

さて、今日は、その力作の中から、「みんなのプリ

ント掲載OK」の人の作品をいくつか紹介します。

あなたの作品は、ありますか。

☆私は中学生になるにあたって、色々と目標を考えました。まず、運動部に入り、背をぐんぐん伸ばしたいです。次に、難しい問題もすらすらと解けるよう、毎日こつこつ計画的に勉強したいです。また、ゲームやテレビもだらだら見ないで、その分読書の時間をつくろうと思っています。

☆ぼくのお札が財布の中にそこそこ入るようになつた。全然使わないからだ。元々ぼくにはそれほど物欲がないということに加えて、貯金箱のパンパンにつまつた小銭を札に換えた。そして、月千円の小遣い。それにより、少しずつ貯まっていったのだ。・・・しかし、本当は、パンパンに入つた小銭の方が良かつた。・・。

☆昨日は、台風だった。台風の目が近付くと、風も強くなつた。風がゴウゴウと音を立てていた。雨戸は、風でガラガラと鳴り、家の前の木はユラユラとゆれていた。あまりの風の強さに、弟は家の中でオロオロとしていた。僕は心の中で、早く何事もなく過ぎてくれと願つた。

☆とてもヌルヌルして、掴んだとたんスルッと手からぬけていく。全然掴まることができない。周りは、バシャバシャ音を立てながら追いかける人もいれば、

掲めた記念に写真を撮っている人もいる。そして、私は気合いを入れ直し、恐る恐る手を伸ばして・・・。

「よし、とれた。鱈がとれた。」私達が掲めた鱈は、その日の夕食に出てきて、食べると身がふわふわで、とても美味しかった。様々な思い出が蘇つてくる。

【前号の答え】花クイズ

①朝顔 A ②昼顔 D ③夕顔 C 実 B
ちなみに、Bの夕顔の実を干すと、みなさんが海苔巻きの具として知っている干瓢になります。

楽器クイズ

①

太鼓（たいこ）

②

笛（ふえ）

③

木琴（もっきん）

④

洋琴（ピアノ）

⑤

提琴（ヴァイオリン）

⑥

手風琴（アコーディオン）

⑦

口風琴（ハーモニカ）

⑧

喇叭（ラッパ）

⑨

三角鉄（トライアングル）

⑩

六弦琴（ギター）

また、学習のふり返りを読んでいると、「意外に身の回りにたくさん畳語があることにびっくりした。」や、「最初は何を書けばいいのかとまどつたけど、書いているうちにどんどん浮かんできた。」などの感想がありました。中には、「突然言われると、文が出てこなくてあせった」、「畳語は浮かぶけど、短文をつくるのに苦労した」というものもありました。国語の学習も久しぶりだったので、突然短文をつくろうといわれても、頭のスイッチをぱっと切り替えるのが難しかったのかもしれません。少しずつ、学習に慣れていきましょう。

みなさんの【学習のふり返り】は、課題を出す私にとって、みなさんが課題にどのように取り組めたかを知る大切なものです。【できた】、【できなかつた】、【こんなことを考えた、感じた】何でもかまいませんので、学習をしたら必ず書くようにしましょう。みなさんの【ふり返り】を読むのを楽しみしています。

全部分かつたな？

